



○交流・活動の場としての『きずなハウス』

きずなハウスは、昨年7月にオープンして以降、おかげさまで月平均1,100名の方にご利用いただいております。お母さん達のお茶のみの場、子ども達の遊び場として、ときには宿題をする場として、また、お孫さんを連れて「駄菓子屋デート」をするおじいちゃん、おばあちゃんの和やかな様子も、きずなハウスの一風景となっています。こうして皆様に楽しく賑やかにご利用いただいているほか、皆様の活動の場としても、広くご利用いただいております。今回はきずなハウスを利用した活動についてご紹介いたします。

【きずなハウスで紙芝居♪】

9月8日(土)、横浜から来たボランティアアさんが、きずなハウスで紙芝居の実演を行いました。「一寸法師」や「アンパンマン」、そして津波の恐ろしさと備えの大切さを語り継ぐ「津波だ！いなむらの火をけすな」など、約1時間、子ども達は紙芝居の世界を楽しみました。一緒に観覧いただいた保護者の皆様からも「懐かしかった」、「(子供が小さくて)まだ、理解できない話もあったけど、思い出に残ると思う」などの声が聞かれました。



【きずなFプロジェクトミーティング】

昨年度、向洋中学校を卒業した元Fプロジェクトの高校生たちが「きずなFプロジェクト」を結成し、震災から学び、町の復興に寄与する活動を継続・発展した活動を行っています。その活動の拠点、ミーティングの場として、「きずなハウス」を利用いただいております。8月には、あらためて町の震災当時、そして現在の状況を巡るフィールドワークを行い、今後はこの体験をもとに、いざという時の避難時に役立つよう、地域の安全な場所や危険箇所を記した新聞の制作や、自身の震災当時の体験をもとにした紙芝居づくりなどに取り組んでいくとのことでした。



きずなFプロミーティングの様子
当日はNHKの取材が入りました

「きずなハウス」は地域の皆様の交流・活動の場としてご利用いただけます。「みんなで集まって話したい」、「こんな活動してみたい」などございましたら、お気軽にスタッフまでお声掛けください。

RSY 七ヶ浜の主な取組

9月

- 9月6日(木) 18:30~20:30
・第6回「きずなネット」会議
- 9月30日(日) 9:00~12:00
・おりおり『藍の生葉染めワークショップ』(2回目)
(台風のため中止)

10月

- 10月21日(日)
・きずな食堂 in 松ヶ浜
松ヶ浜地区避難所にて災害公営住宅や高台移転住宅、地域の皆様との食事交流会を開催します！向洋中学校Fプロジェクトの生徒たちが、避難所の清掃や花壇整備、調理を教わりながらお手伝いします！
- 10月21日(日) 10:00~13:00
・第21回ふれあい広場
あさひ園祭り
障害者地域活動支援センター「あさひ園」利用者の活動成果・PR、そして玉コン、とん汁等の出店。RSYは東北学院大学の学生さんと一緒に、くじ引きのブースをお手伝いします！

インフォメーション


きずなハウスで「北海道胆振(いぶり) 東部地震」被災者支援募金を受付中

ご寄付いただいた募金は、現地での情報収集や、被災地の方々の生活支援のために活用いたします。

きずなハウスでは、スタッフ及びきずなハウスサポーター(ボランティアスタッフ)を募集しています。ご興味のある方は下記までご連絡ください。

七ヶ浜みんなの家きずなハウス

〒985-0802 宮城県宮城郡七ヶ浜町吉田浜字野山 5-9
生涯学習センター敷地内
TEL : 090-9020-5887 / Mail : info@rsy-nagoya.com
運営 : 認定NPO法人レスキューストックヤード

きずなハウス情報は
こちらから →
face book にて
「きずなハウス」で
ご検索ください。

